

## 海上自衛隊で横須賀市立不入斗中学校「総合的な学習の時間」



ロープワーク体験

神奈川地方協力本部横須賀地域事務所（所長 大里3海佐）は、1月21日（水）及び22日（木）、海上自衛隊第2術科学校、1月23日（金）、海上自衛隊横須賀教育隊において、横須賀市立不入斗（いりやます）中学校の「総合的な学習の時間」を支援した。

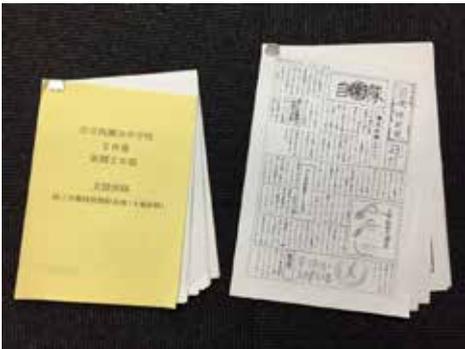
第2術科学校では、ディーゼルエンジンの始動やガスタービンのシミュレーション操作を体験し、実際に自衛隊の船を動かしている気分を味わっていた。

最後には学校長から生徒一人一人に、修了書と記念メダルが贈呈されたが、「一番緊張した」と興奮気味に話していた。

横須賀教育隊では、基本教練の体験が行われ、全員で歩調を合わせて行進が出来るまでに上達し、ロープワークでは、始めは結び方を覚えるのに苦労していたが、瞬く間に自分のものにしていった。また、昼食では、隊員と同じ食堂で海自名物のカレーに舌鼓を打っていた。

横須賀地域事務所は、「今後も、「総合的な学習の時間」を積極的に支援し、募集につなげていく」としている。

## 「総合学習参加学生からお礼の手紙と新聞」



送られてきた学校新聞と手紙

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長・竹崎1陸尉）に、南瀬谷中学校の生徒から、1月22日（木）に座間駐屯地で実施した「総合的な学習の時間」のお礼の手紙と新聞が届いた。

お礼の手紙には、「私達の体験学習を快く受け入れてくださり本当にありがとうございました。」「イメージが変わりました。」「自衛隊の事をたくさん知ることができました。」「僕も自衛隊に入りたいと思いました。」「等の感想が認められていた。また、参加した生徒たちが作成した自衛隊新聞には、体験の感想や自衛隊のクイズ、職種の写真等が記載されていた。

横浜中央募集案内所は、「今後も、自衛隊に関心のある若者たちを全力で支援していく」としている。

## 小田原地域事務所臨時自衛隊広報ブース



臨時広報ブース

神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 林1陸尉）は、2月9日（月）から、事務所が入居するビルの1階（事務所は3階）に臨時広報ブースを開設した。

このビルの所有者であり小田原地区自衛官募集相談員（夏目氏）の御厚意により、1階の空きテナントの提供を受けたもので、平日は9時から17時の間、ポスターやパネル、パンフレット等を展示している。ブースは、バス通りに面し人通りも多いことから広報効果に期待を寄せている。

小田原地域事務所は、「今後も、様々な取組に挑戦し自衛官募集につなげていきたい」としている。